

α・オリゴ糖

「スーパー難消化性デキストリン」として提案

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7147)は、α・オリゴ糖(α・シクロデキストリン、α・CD)を用いた試験で一般的な難消化性デキストリンよりも

少量で血中中性脂肪の低減作用を確認しており、「スーパー難消化性デキストリン」として提案を強化している。米国・アーチン社が実施した試験では、健康

な男女34人(平均BMI・25・04)に朝食として市販の高脂肪食(脂肪分26g含有)および「α・CD」2gを摂取させ、食後1時間ごとの血液中の数値を比較したところ、プラセボ群に対してα・CDを摂取した群では血中中性脂肪の有意な低下が確認された。

なお、本研究成果は米国の医学雑誌「メタボリ

ズム」に査読付き論文が投稿されている。

一般の難消化性デキストリンは摂取目安量を5gと設定する製品が多い中、α・CDは1日当たり2gと少量で機能性を発揮できるため、幅広い分野の食品に向けて有意性を訴えていく考えだ。